創価大学教職大学院　ニュースレター

第8号
2023春

人間教育

研究科長挨拶
吉川 成司

創価大学教職大学院は、創立者・池田大作先生が示された3つの指針を胸に刻み、「実践力・授業力」「地球的視野」そして「豊かな人間力」の育成を目指しています。現職教員、学部新卒学生、社会人と多様な大学院生が集い、人間教育の大道を拓きゆかんと学んでいます。このニュースレターは、こうした学びと成長の姿を学内外に広報するために発行するものです。特長として大学院生がその企画・編集に積極的に参画していることにあります。学び成長しゆく大学院生自らの手によるニュースレターです。

さて、創価大学は、10か年の中長期計画として、「Soka University Grand Design 2021-2030」を策定しています。その節目とされている2030年は、創価教育の父・牧口常三郎先生の『創価教育学体系』の発刊から100周年を刻む年です。このグランドデザインは、同じく2030年を目途とするSDGsとも関連しています。そこで開催されたのが、第11回池田思想国際シンポジウムです（2021年10月）。そのテーマは「人類の共生と世界市民教育」でした。創立者は、次のようなメッセージを寄せてくださいました。「教育の“信ずる力”で、人類の善性の開花を！」「青年の“負けじ魂”で、価値創造の大連帯を！」「生命の“調和の智慧”で、地球生態系と共生の文明を！」と。こうした潮流を起こしゆくのは、人間教育のエートスを体現した教師にほかなりません。

教職大学院の学びでは「実践と理論の往還」が重視されます。人間教育を志向する上での実践と理論の往還とは、現場での経験値を科学の知へと昇華しつつ、科学な知を実践の智慧に展開しゆくことです。そして、その根底に「内省的な問いかけ」と「他者への働きかけ」の往還作業が不可欠です。このように、一歩深い次元から実践と理論を止揚し、人間教育を志向するところに、私たち教職大学院の理念の眼目があります。このニュースレターを手にされた皆さんと人間教育の理念を共有し、その大道をともどもに歩んでいきたいと念願しております。

授業紹介

カリキュラム・マネジメントと校内研修の推進

渡辺 秀貴

カリキュラム・マネジメントは、学習指導要領と現場の学校運営、授業運営との乖離という、これまでの課題を解決する教育課程編成の考え方と手続きを意図するものです。特に、資質能力育成型の授業づくりには不可欠ですが、学習指導要領の完全実施期とコロナ禍が重なったこともあり、学校で順調に推進されているとは言い難い状況にあります。

本科目では、これからの学校づくりに必須のカリキュラム・マネジメントの理念と実践について具体的に学び、受講者が現場での授業づくりや教育活動を実践できる力の形成を目指してきました。2022 年度は、プロコース６人とリーダーコースの７人が受講し、授業の前半は、リーダーコースの現職教員による学校現場の実態の分析・報告と文献による知見とを照らし合わせて、カリキュラム・マネジメントの理念と実践上の課題を明確にしました。中盤からは、ESD 実践で学校改善に取り組んだ元校長、自治体の教育施策として全小中学校のユネスコスクール実践を支える教育委員会指導主事、資質能力育成型の学校づくりの中核に人材育成を位置付けている現職校長、そして多摩地区の小中学校のカリキュラム改善を推進する多摩教育事務所指導主事の講話を基にした議論によって、さらに知見を広げ、実践へのモチベーションを高めました。

リーダーコースとプロコースで少人数グループを構成して、事前に準備した資料を基にした協議と提案を積み上げる学習形態も本科目の特徴の一つです。学びのまとめとして協働作成した「カリキュラム・マネジメントの実践ガイド」は、受講生が現場で新しい教育創造の基盤の資料の一つとなるはずです。

ＩＣＴを活用した教育活動

鈴木 詞雄

本授業科目では、主に次の3点を行っています。

1．電子教科書をはじめとするＩＣＴを効果的に活用した授業を考えます。

2022 年度には小学校国語・社会・算数・理科・英語、2022 年度には中学校数学の電子教科書がインストールされたタブレットを完備しました。それらを使用し、電子教科書にどのような機能やコンテンツが備わっているかを学習します。その上で、電子教科書やＩＣＴを有効に活用した授業について考えます。

2．プログラミング教育の目的を理解し、授業を展開します。

プログラミング的思考の意味を理解し、アンプラグドプログラミング・プラグドプログラミング・ビジュアルプログラミングをはじめとする具体的な方法を学習します。その上で、プログラミング的思考を育てる授業を展開します。

3．有効なデジタル教材を開発します。

創価大学の中央教育棟にあるＩＣＴを使用したり、ＥＤＩＸに参加したりして、最先端のＩＣＴについて学習します。その上で、よりよいデジタル教材の機能について考え、開発します。実際に授業で使えるスキルを身に付けながら、ＩＣＴを活用した教育活動に関する理論と実践を体験的に学ぶ授業です。

ESDとユネスコスクール

山﨑 めぐみ

この科目は、2021年度にユネスコスクールから学ぶEducation for Sustainable Development (ESD)の取り組み方・すすめ方を学ぶことをテーマに開設されました。日本には、世界全体の一割のユネスコスクールがあります（2019年時点で1120校）。しかしながら、実際にユネスコスクールの使命は何か、どのような取り組みが行われているのかを知っている教職員はまだまだ少ないのではないでしょうか。

まずは、講義でユネスコスクールの意義や現状、ESDを確かにするホールスクールアプローチを理解、ユネスコスクールの目的と活動テーマの実践をアセスメントするためのルーブリックを用いた手法を理解します。その後、ユネスコスクールを実際に訪問調査します。事前に訪問校の情報を収集、ESDやユネスコスクールに関する質問をお渡し、見学させていただいた授業も参考に、質疑応答の時間をいただきました。訪問後は、実態とユネスコスクールの使命と実践を比較したうえで、考察と提案を含んだ報告書を作成します。この報告書は、訪問校とユネスコスクールを取りまとめる事務局のユネスコ・アジア文化センター（AACU）へ送られます。

この授業では、ユネスコスクールやESDとは何かを学ぶだけでなく、実際に訪問することにより地域、学校ごとの特色のある展開を調査する機会が設けられています。シンプルに学んだことを報告するだけでなく、アセスメントの観点と照らし合わせ、訪問校はもちろん、他者にも具体的な特色を説明することができ、よりよい実践にするための具体的な提案を試みる授業になっています。

院生の体験談

人間教育実践リーダーコース

松田 絢也

どうして教職大学院に進学しようと考えたのですか?

繋がりのある同僚や先輩方から「創価大学の教職大学院は素晴らしい」「絶対に行った方がいい」と何度も話を聞く機会がありました。それがきっかけとなり、目指すようになりました。

教職大学院では、どのようなことを学んでいますか?

本当に色々なことを学んでいます。教科学習、学校経営や教育行政、特別支援、学級経営、いじめ予防等々、それぞれに理論的な学び実践的な学びがあり、とても充実しています。これまでの経験を省みながら、「これはこういう意味があったのか」と自身の実践と理論が重なる瞬間もあります。また、奈良女子大学附属小学校やきのくに子どもの村学園等、自分が知っている学校とは違った教育の姿を目の当たりにし、「教育とは」というテーマで、根本から考えることもあります。今年度は同期が8名おり、自習室に戻った後、自然発生的に始まるディスカッションが、さらに学びを深めてくれています。(とっても楽しい時間です)

教職大学院の学びによって、どのような力が身につくと感じていますか?

一つ一つの教育活動が何のためか、何に繋がるのか、その意味を考えるようになりました。また、同じように自身の人生についても深く見つめるようになりました。

読者へ一言お願いします。

チャンスがあるなら来て下さい。得しかないです。

人間教育実践リーダーコース

木下 明子

どうして教職大学院に進学しようと考えたのですか?

創価大学教職大学院を希望した理由としては、これまでの教育現場での実践を振り返ることや理論をしっかりと学び、自身の教養を高めたかったからです。創価大学教職大学院に入学し学ぶことにより、自分自身の物の見方や考え方が変わり、何よりも教師人生の中で価値観を大きく変化させる一歩となりました。

教職大学院では、どのようなことを学んでいますか?

私は、他の教職大学院で学ぶことはできないであろう人間教育を学んでいます。デューイの書物を通して同期のみなでディスカッションすることで自身のリフレクションにもつながっています。

教職大学院の学びによって、どのような力が身につくと感じていますか?

理論を学び、同期の仲間とともに学び合う中で、教育現場で即生かすことのできる実践力を高めることができたと実感しています。児童理解や保護者対応についても様々な事例を通して対応力も一段と深めることができました。

読者へ一言お願いします。

教授を含めて素晴らしい環境の中で学べる場が創価大学教職大学院です。きっと素敵な仲間との出会いがあり魅力あふれる教職大学院です。

人間教育プロフェッショナルコース

田久保 響

どうして教職大学院に進学しようと考えたのですか?

「困り感を抱える児童やその保護者の力になりたい」そのために必要な確かな知識や実践力を身につけることができる場所はこの大学院であると考え進学しました。

教職大学院では、どのようなことを学んでいますか?

子どもたちにとって本当に意味のある学びとは何か。果たしてその学びは子どもにとって何の意味があるのか。「人間教育」という大きなテーマのもと様々な専門分野のエキスパートである教授方や、現職教員、学部から直接入学であるストレートマスターとの日々の学びあいのなかで、これからの時代に必要な本当の学びとは何か、人間教育とは何かを学んでいます。

教職大学院の学びによって、どのような力が身につくと感じていますか?

教育現場に山積する、多様化、複雑化した課題に対して、どのような対応ができるのかを心理学や組織論などさまざまな角度から学ぶことを通して、多角的・多面的に考える示唆を得ることができます。

進学を考えている読者へ一言お願いします。

教職大学院で学んで大きく価値観が変わりました。一流の大学の先生方と現職の先生方との充実した学びが待っています。ぜひ学びに来てください。

人間教育プロフェッショナルコース

橋本 華奈

どうして教職大学院に進学しようと考えたのですか?

私は、情報系の学部出身であり、教職についての知識が薄い状態で現場に出ることへの不安があって、教職に就いて専門的に学んでみたいと思ったからです。また、現場に立つ前に様々な学校に訪問する機会があることや、長期間に渡る教育実習を行えるからです。

教職大学院では、どのようなことを学んでいますか?

どの領域でも人間教育という視点は欠かせませんが、各教科の指導方法に関すること、生徒指導に関すること、カリキュラムマネジメントなど多岐にわたります。

教職大学院の学びによって、どのような力が身につくと感じていますか?

まずは授業においてディスカッションの機会が多いため、自分の考えを発言していく力が身につきます。さらに、教育現場で当たり前とされていることについて、改めて考えていく機会が多いため、吟味することの大切さも感じることができます。また、長期間の実習研究では楽しくも大変なことが多いです。そのため、先生方にアドバイスしていただきながら、真正面から課題に向き合うことができ、乗り越えられました。

進学を考えている読者へ一言お願いします。

ぜひ、教職大学院に来てください。きっと教職に就くことが楽しみになりますよ。

教職大学院の日常

授業の様子

現職教員（リーダーコース）とストレートマスター（プロフェッショナルコース）が一緒に授業を受講できることで、互いの学びがより充実します。

授業は学生主体で展開されます。学生同士で意見を伝え合うことが学びの広がりや深まりに繋がっています。

教育課題実地研修

本年度は、富山市立堀川小学校と奈良女子附属小学校に訪問しました。
（※選択制です）

リーダーコースの学生による学部生向け教職特別講座

「教師の仕事について知りたいこと」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

教職大学院生ガイダンス

4 月には教授陣が授業内容等を丁寧に説明してくださり、安心感と見通しをもって授業の履修をすることができます。

教職大学院棟（V棟）の施設

教材研究室

教材研究や授業準備のための教科書、ICTが揃っています。実習時は、ビデオカメラを持って、自分の授業を振り返っています。

ラウンジ

みんなの憩いの場。お昼休みや空き時間になると、コーヒー等を飲みながら語り合います。ホワイトボードや教育書籍等もあります。

自習室

1 人ひとりに自分の机が用意され，落ち着いて学びを深められます。各部屋は同学年ごとに少人数で分かれているので、談義に花を咲かせます。

創価大学

創価大学　教職大学院
〒192-8577　東京都八王子市丹木町 1-236
TEL：042-691-2211
ホームページ URL　https://www.soka.ac.jp/grad-edu/